

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2023年10月4日 第2521回例会 VOL.55 No.10

■司会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 田川 富男

■出席報告

会員数	18名	本日の出席数	13名
本日の出席率	72.22%	修正出席率	82.35%

■本日の欠席者 宋、中谷、平子、二宮、福村

■他クラブ出席者 安藤（地区）、新川（新横浜RC、鈴鹿ベイRC）

■斉唱／奉仕の理想、四つのテスト

■ビジター

板橋克尚様／第2590地区米山奨学金増進委員長・横浜RC

■誕生日祝い

新川会員 10.15

宋 会員 10.2



■会長報告 田川 富男

月も変わり秋風と天高くの季節になりました。今年に残暑が続きました。

秋には色々な活動が計画されています。

10月8日の二俣川銀座フォルテ祭（二俣川銀座商店街）が開催されます。次に10月15日には旭ふれあい区民祭（旭区役所）があります。

ロータリークラブとして、地域の自治体や自治会との接点を大切することが必要です。また、奉仕活動の基本的にはクラブの存在する場所に奉仕させていただき、ロータリーの存在意義があると考えています。その後にて各地の未曾有の災害等に対して貢献する事もロータリアンとして必要と思います。その一環として米山奨学も大切な活動です。本日は地区の米山奨学金増進委員会 板橋克尚委員長が来会して頂きましたので後ほど米山の現状をお願い申し上げます。

前回例会でお話した。例会場の事ですが、11月の例会場は「ジョイナステラス3」の新コミュニティサロンを考えています。つきましては、現在使用している器材を10月25日10時に撤収する予定です。

■幹事報告 岡田 隆

▷例会臨時変更のお知らせ

○大和ロータリークラブ

10月24日⇒25日(木)移動例会

台北七星RC合同例会

10月31日(火) 休会

11月14日(火)⇒13日(月)移動例会：シリウス

11月21日(火)⇒19日(日)移動例会：シリウス

11月28日(火)⇒26日(日)地区大会

○新横浜ロータリークラブ

10月27日⇒10月26日(木)ゴルフ例会

戸塚カントリー倶楽部

○横浜あざみロータリークラブ

10月18日 点鐘 13:15

アートフォーラムあざみ野

10月25日 点鐘 12:30

新横浜グレイスホテル

○神奈川東ロータリークラブ

10月27日(金) 優良職場訪問及び移動例会

■板橋克尚様／地区米山奨学金増進委員長・横浜 RC



皆さん今日は、私は第2590地区で米山奨学金増進委員長を仰せつかっております板橋と申します。所属は横浜 RC でございます。

皆様お手元にガバナー月信が届いていると思いますが、今月は米山月間ということで、G月信にも記事が紹介されております。昨日米山研修会議で安藤さんにもご一緒させていただいて、ありがとうございます。

地区の米山奨学委員会といのは、3つの小委員会に分かれておまして、増進委員会・学友委員会・選考委員会でございます。私は増進ということで寄付金集めを仰せつかっております。本日は例会に参加させて頂き、皆様からいろいろなお話を伺い勉強させて頂きに参りました。よろしくお祈りします。

■社会奉仕委員会 安藤 公一

10月8日 二俣川フォルテ祭 9時集合

10月15日 区民まつり 9時集合

皆様のご協力をお願いします。

■親睦委員会 市川 慎二

友好クラブ岩沼 RC より親睦会のご案内が届きました。回覧しますので、ご都合ご記入願います。

友好クラブ横浜旭ロータリークラブとの親睦活動 ～横浜旭ロータリークラブさんをお迎えして～

日程 2023年11月5日(日)～11月6日(月)

【行程】

11月5日(日)

10:00 仙台駅横浜旭RC御一行様お出迎え

11:00 国営みちのく杜の湖畔公園散策

12:00 昼食(かもしか茶屋蕎麦)

13:00 高速道路⇒

14:00 山形蔵王ロープウェイ散策

17:00 山形蔵王温泉ホテル松金屋アネックス(宿泊)到着

18:00 懇親会・夕食(夕食には、いも煮鍋を用意します)

11月6日(月)

9:00 チェックアウト

山寺散策⇒仙台

昼食 牛タン

仙台市内観光

15:30 仙台駅見送り

ホテル松金屋アネックス
山形市蔵王温泉1257-16
電話023-694-9705

■ニコニコBOX

板橋 克尚様(地区米山奨学金増進委員長・横浜 RC) / 米山記念奨学事業にご理解ご協力たまわり、ありがとうございます。米山月間メイクアップでお邪魔いたしました。本日はよろしくお祈りします。

佐藤 真吾 / 久しぶりの例会場です。大変ご無沙汰しており申し訳ございませんでした。

安藤 公一 / ①地区米山奨学金増進委員長板橋様、ようこそお出いただきありがとうございます。②佐藤利明さん本日のフォーラム宜しくお祈り致します。③祝、本塁打王、大谷翔平選手。④ラグビーワールドカップのJAPANのアルゼンチン戦勝利を祈って。

五十嵐 正 / ①妻の誕生日祝いに素敵なお花ありがとうございます。②佐藤利明さん、米山フォーラムよろしくお祈りします。

田川 富男 / ①板橋米山奨学金増進委員長、旭ロータリーによる。②佐藤利明さん連続卓話ありがとうございます。

佐藤 利明 / 地区米山奨学金増進委員長板橋克尚様ようこそおいで下さいました。本日の米山フォーラム御教授願えれば幸いです。よろしく。

岡田 隆 / ①板橋米山奨学金増進委員長よう

こそお越し頂きました。②佐藤利明会員、本日のフォーラムよろしくお願い致します。

目黒 恵一／①米山増進委員長板橋克尚様ようこそ！②米山フォーラム佐藤利明会員よろしくお願い致します。

北澤 正浩／①佐藤利明会員の米山フォーラム、よろしくお願い致します。②米山奨学金増進委員長板橋克尚様ようこそ。

市川 慎二／①米山奨学金増進委員長板橋様ようこそお越し下さいました。②佐藤利明さんフォーラムよろしくお願い致します。

関口 大樹／佐藤利明さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

佐藤 勉／板橋委員長、佐藤利明会員、本日はよろしくお願い致します。

■米山フォーラム 佐藤 利明
「米山記念奨学委員会計画」

米山記念奨学会は、日本最初のロータリークラブを創立した米山梅吉翁の功績を記念して、東京 RC が 1952 (S27 年) 年に創設した「米山基金」から始まり、全日本のロータリアンの寄付金を財源として、世界中の各国から、日本の学術や技術を学び、日本文化を研究する目的を持って来日する優秀な留学生を対象に、奨学金を支給・援助する民間最大の奨学団体です。東京 RC がこの事業を設立したその背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を世界に伝え、「国際親善と世界平和」に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがあったからです。

◎米山記念奨学会の特長

奨学生は毎月 1 回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって、日本の社会を知り、ロータリークラブについて学んでいきます。又、奨学期間終了後も「米山学友」としてロータリーの国際コミュニティに参加することができます。世話クラブカウンセラー制度があり、奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが世話クラブとなり、奨学期間中奨学生は、世話クラブで奨学金を受取ります。さらに世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、相談役もつとめます。

◎寄付金について

国際親善と交流の懸け橋となる優秀な留学生を支援するため



普通寄付 5,000 円 (年会費より)

特別寄付 20,000 円 (個人負担)

普通寄付・特別寄付あわせて 25,000 円以上会員皆様をお願いする。

◎米山梅吉翁その生い立ちと人となり

米山梅吉は明治元年 (1868 年) 東京芝田村町に今から 155 年前、和田竹造・うた夫妻の三男として生まれる。父和田竹造は大和国高取の藩主 (現在の奈良県)、母うたは静岡三島大社神宮日比谷右京の娘であります。

梅吉 4 才の時に父竹造死去、やむなく母の郷里三島に母と共に移り住む。梅吉は幼い時から神童と言われた英才でありました。郷里の納米里 (なめり) という処に「映雪舎」という塾のような小学校がありまして、梅吉は 7 才の時にそこに入学します。兄の和田栄次郎がそこで教師をしていたからであります。梅吉 11 才の時、納米里の隣部落上土狩の米山家がこの出来のよい少年に眼をつけまして養子にと望まれました。この米山家は旧今川時代から北条時代を経て四百年も続いた旧家・名主の家でありまして、当時の主は十三代藤三郎、夫人はさくと言ひ、はるといふ娘がおりました。このはるが後の米山梅吉夫人になる人であります。映雪舎を終えた梅吉は明治 14 年 (1881 年) 沼津中学に入学します。

毎日二里 (8km) の道を長泉から歩いて通いました。この学校は私学でして、前身は沼津兵学校でありました。沼津兵学校はこの時代、勝海舟・葦山の江川太郎左衛門らの影響を受け、西洋文化・蘭学・英語に力を入れ、明治時代の近代化に視点を置いて教育しておりました。初代の校長は西周 (にしあまね) であります。

西周は島根県の生まれで、初めは儒学を学び、のち蘭学を志しオランダに留学した人であります。山縣有朋らと日本陸軍の基礎をつくり、兵

法と共に哲学者、日本近代哲学の父と言われる人であります。

沼津中学に梅吉が13才で入学した時の校長はこれまた大人物、^{えばらそろうく}江原素六でありました。梅吉は生涯よき師に恵まれましたが、その第一の師とも言うべき人が江原素六でありました。江原は東洋英和・麻布中学（現在の麻布学園）を創立し終生校長であった人であります。後に衆議院議員など政界に身を投じた人であります。

梅吉は沼津中学卒業を待たずに郷里を出走、単独で上京するのであります。梅吉15才の時です。梅吉は丸3日歩いて箱根を超えて横浜に着き^{ていこうか}汽車で上京します。

そして土居光華の門に入り、銀座江南学校に通い始めました。

20才の時に銀座の福音会英語学校に入学します。この年、梅吉は正式に米山家に入籍、米山という姓を名乗り年末には渡米します。渡米した米山は桑港福音会寄宿舎に寄寓、アメリカ生活が始まりました。ここで第二の師とも言うべき青山学院長本多庸一に出会います。

本多庸一は明治時代のキリスト教指導者でありまして、東北地方伝道師として東奥義塾を再興し弘前教会を創設した。又、政治にも転じ青森県会議長などを経て青山学院長、日本メソジスト教会初代監督を務めた人物であります。米山が一生の座右の銘とした「巧遅と拙速」と言う文言は本多庸一の教であります。巧みなれども遅し、拙なれども速し、本多先生は梅吉の性格を察して功を急がないようにそれとなく戒めたようです。

その頃の学資の徒はお定まりで皿洗いか学僕であり、米山もこれらをこなして加州のベルモント・アカデミー（これは大学に入る準備の高等学校）ここを手軽に終えて、オハイオのウエスレアン大学、ニューヨークのシラキユース大学で勉学に励み渡米8年を経て、アメリカの知識を持ち堂々たる日本の紳士として帰って来た。ハイカラで身だしなみよく、礼儀正しく養家との疎音も復活した。時に米山27才であった。

米山梅吉がはじめからなりたかった職業は新聞記者であった。帰国時は日清戦争の終わった年で、就職も、生活の安定という点では納得できなかった様であります。

米山は明治29年、米山はると結婚した。28才の時でした。

この頃、旧友海野力太郎の世話で日本鉄道会社に入社したが仕事は技術畑が強く長居すべき

でないと考え、畏友藤田四郎に相談した。藤田の岳父は井上馨で伊藤博文・山縣有朋と並んで長州の三尊と言われた人で財界の雄、この人の口添えで三井銀行に入行した。良き師良き友良き運に恵まれた巡り合わせというべきであろうか、明治30年のことでありました。入行してからトントン拍子に出世した。それもそのはず大御所の口利き、アメリカの大学卒、英語は自在、男前、とすべてが整っていたわけでありませぬ。明治42年には三井銀行常務取締役になりました。正に順風満帆と言うべきでしょうか、米山という人は生涯人のために尽くすことを信条として実行した人でありました。“自分がして貰いたくないことを人にしてはいけない”と常に言っていた様です。この人生黄金時代に米山は「新隠居論」という文章を書きました。時に47才の働き盛りでありました。根底には米山の奉仕論があるのだが、西洋の形式に学べというのであります。西洋の隠居は隠退することではなく、隠居して為すべき仕事を見つけだす。隠居した人は今迄職務に忙しくて出来なかったことをみつけ、何か社会公衆の為に奉仕するところがなくては人間としての義務を果たしたとは言えないと言う。つまり、人間として事業に一応成功して目途がついたら後進に道を譲って報恩、社会奉仕の方法を探しなさい、という論法であります。その後、三井信託株式会社が正13年3月に創立されまして初代取締役社長に就任しました。三井信託の10年間の業務を終えて、米山は昭和9年財団法人三井報恩会の理事長に就任しました。

三井報恩会とは財閥の三井一族が当時の金で3000万円を出資し、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立された会であります。その当時のこの金額が今どれくらいの評価か知るべくもないが人は言う、300億円以上かと。いずれにしても広範な仕事であります。＜医療、福祉関係＞＜農村振興事業＞＜学術研究、実験助成＞等々でありました。米山の偉かったことは単に金を出しただけで終わらず、必ず自ら現地に赴いたことであります。米山の姿勢は一貫して施しの姿勢は全くなく、金はお出しするから皆さん頑張れと励まし続けたとのことでありませぬ。大変ねばり強く、地方の実情、ニーズに良く対応し、愛と奉仕の精神に裏付けられた行動と言うことが出来ましよう。

■次週卓話

10/18 佐藤真吾会員